

# 梅ヶ島 山の声

～ 梅ヶ島出張所通信 ～

## 2月11日(土)、タイムカプセル開封

昭和62年、「安倍川砂防事業50周年記念事業」の一環として、地元の梅ヶ島・大河内学区の保育園児、小・中学校の児童、生徒の作文、作品が収められたタイムカプセルの開封式が、2月11日(土)に開催されました。納められてから30年目に当たる本年、「梅ヶ島災害50年事業」と直轄砂防80周年となる節目として行われたものです。



犬飼静岡河川事務所長あいさつ



小泉梅ヶ島学区自治会連合会長あいさつ



三浦大河内学区自治会連合会長あいさつ



6つのタイムカプセルがいよいよ開封されます



タイムカプセル開封



数々の思い出の品が...



当時の記憶がよみがえります



懐かしさで一杯のみなさん

開封式には当時の卒業生と家族ら約200人が集まり、30年前の思い出の品を懐かしみ歓声を上げていました。



昭和62年(1987)当時は、50年後の平成49年(2037)年にタイムカプセルを掘り出すこととしていましたが、当初予定していた時期より早めに開封したいという地元からの要請を受け開封されました。



作文や手紙、写真、教科書など当時のままの保存状態でした。

## 工事安全に関する発表会を開催しました

梅ヶ島出張所では2月15日、砂防工事の安全対策の取り組みを共有するため、各工事現場の安全対策について事例発表会を行いました。この発表会は、蒲原沢土石流災害発生以降、砂防関係工事における安全性向上の取組の一つとして全国的に実施されているもので、当出張所においても、厳しい砂防工事現場での経験や、創意工夫をお互いに発表し合い、安全施工技術の向上のための情報交換と意見交換を行いました。

### 蒲原沢土石流災害

平成8年12月6日、長野県と新潟県の県境の蒲原沢で大規模な土石流が発生し、2基の谷止め工、2基の砂防堰堤を乗り越え、下流で施工中の5カ所の工事現場の労働者14名の尊い命を奪い、9名が負傷する重大な災害が発生しました。この災害を契機に労働安全衛生規則が改定され、土石流危険河川内の土石流による労働災害の防止に関する規定が盛り込まれました。

当地には被災された十四名の方々に慰霊するとともに、この災害の記憶を風化させることなく後世に伝えるべく、慰霊碑が建てられ、災害から20年となった昨年12月には慰霊祭が行われていています。



長野県蒲原沢で発生した土石流(平成8年12月6日)  
国土交通省HPより



各現場での安全への取り組みを発表

## 砂防施設の改良工事が始まります

**平成28年度 安倍川水系管内砂防施設改良工事** 工期:平成28年1月11日～平成29年7月31日 施工者:(株)白鳥建設

管内の古い砂防施設の中には、土砂を多く含んだ水が流れるために摩耗が進み、補修が必要な施設があります。本工事は、こうした施設の中でも特に摩耗が激しい箇所を補修・改良し、施設の機能を維持する目的で行います。



施工後30年以上が経過した大島流路工の補修を行います。



すり減った箇所を補修します(昨年度工事より)

## 編集後記

2月中旬に入り、日中は暖かさも感じられるようになってきました。梅ヶ島梅園の梅も開花し、日増しに色づいています。3月は溪流釣り解禁に新田地区の初午祭り、梅祭りと季節の移り変わりが楽しめるオクシズ・梅ヶ島です。最近では寒暖差が大きく、周りには体調を崩している人を多く見かけます。皆様十分ご注意ください。



梅ヶ島コンヤの里

皆様からの情報やご意見を募集します。

Tel:054-269-2003、E-mail:[http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05\\_jigyou/02\\_office/toiwase.html](http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyou/02_office/toiwase.html)

